

## 福島県金融経済概況

### 1. 概況

県内景気は、厳しさを残しつつも、生産活動を起点に持ち直しの動きが広がりつつある。

すなわち、最終需要をみると、個人消費は、各種政策効果から自動車販売や家電販売で持ち直しが持続しているが、雇用・所得情勢の厳しさを背景に、全体としては弱い動きが続いている。住宅投資は低調に推移している。公共投資は前年を下回った。今年度の設備投資は、低水準ながら、大手製造業を主体に若干の前年比プラスに転じる計画となっている。鉱工業生産動向をみると、単月の振れはあるものの、新興国を中心とした海外需要の増加や政策効果を背景に、持ち直しが続いている。

消費者物価指数は前年を下回って推移している。

こうしたもとの、6月短観でみた県内企業の景況感は、昨年3月調査をボトムにして製造業を中心に5回調査連続で「悪い」超幅が縮小した。

### 2. 最終需要動向

個人消費は、各種政策効果から自動車販売や家電販売で持ち直しが持続しているが、雇用・所得情勢の厳しさを背景に節約志向が根強いことから、小売・サービス業全般で弱い動きが続いている。

- 大型小売店売上高は、根強い節約志向を背景として、スーパーを中心に大幅な前年割れとなるなど、引き続き厳しい状況にある。
- 新車登録台数（含む軽）は、増勢テンポが鈍化しているものの、税制改正の効果や減税対象モデルの増強などから、小型車を中心に好調を持続している。
- 家電販売は、エコポイント効果や地デジ移行に備えた動きもあって、薄型テレビや周辺機器を中心に堅調に推移している。6月入り後は、気温上昇に伴いエアコン販売にも動意がみられる。
- レジャー消費は、雇用・所得情勢の厳しさを背景に、大型連休後の主要観光施設への入込み、旅行会社の国内外旅行取扱高とも低調に推移している。

今年度の設備投資は、大手製造業を主体として、維持・更新、省力化・合理化投資を中心に小幅ながら前年比プラスに転じる計画となっている。

住宅投資は、新設住宅着工戸数が9か月振りに前年を若干上回ったが、実勢としては引き続き低調に推移している。

公共投資は、発注金額、発注件数とも前年を下回った。

### 3. 鉱工業生産動向

生産面をみると、単月の振れはあるものの、新興国を中心とした海外需要の増加や政策効果を背景に、持ち直しが続いている。業種別にみても、このところ高操業を続けている電気機械、輸送機械、非鉄金属に加え、民間設備投資に関連する一般機械などにも持ち直しの動きが広がっているほか、下請け企業への波及もみられている。

### 4. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢は、雇用者数の前年割れが続いているなど引き続き厳しい状況にあるが、生産の持ち直しを受けて、改善に向けた動きがみられ始めている。

- 有効求人倍率は低水準ながらも持ち直しつつある。
- 大口人員整理は小康状態にある。
- 雇用保険受給者数はなお高水準ながらも着実に減少している。
- 所定外労働時間は増加が続いている。
- 雇用者所得は、全体としては低調な地合いに変わらないが、所定外給与の改善を主因に2か月連続で前年を上回った。

### 5. 金融情勢

銀行券受払高は小幅の発行超となった。

実質預金は個人預金の増加等から前年を上回って推移している。

貸出は法人の資金需要低迷等から引き続き前年を下回っている。

貸出約定平均金利は、地元地銀・第二地銀・信金とも前月比低下した。

企業倒産件数は落ち着いた状態が続いている。

以 上